

「幻の安土城」復元プロジェクト

教育・文化スポーツ常任委員会資料2
令和5年(2023年)3月7日
文化スポーツ部文化財保護課

目的 謎に包まれた安土城の実像を解明し、目に見える形にすることにより、安土城の価値・魅力を発信し、県および地域の盛り上がりにつなげる。

「幻の安土城」復元プロジェクトの開始

安土城復元に向けての調査および検討

安土城見える化の方向性・方法の検討

- ・現況確認調査 ・赤色立体地図作成
- ・昭和の調査整備事業記録の調査と集成
- ・平成の調査整備事業調査資料(写真・図面)のデジタル化
- ・安土城考古博物館の展示基本計画策定

- ・見える化検討会議の開催 ・類例調査の実施
- ・「安土山図屏風」の課題調査
- ・関連団体との調整

安土城見える化の方向性・方法の決定

① 安土城の実像の解明と保全

- ・特別史跡安土城跡整備基本計画の策定
- ・検討会議(有識者・所有者・文化庁)の開催
- ・昭和、平成の記録の整理とデジタル化の継続
- ・城跡の修景・修復の継続実施

② デジタルによる安土城の見える化

- ・デジタルによる安土城見える化基本計画策定
- ・「安土山図屏風」等探索事業(HP公開・聞き取り)

- ・デジタルによる安土城見える化基本設計
- ・安土城考古博物館展示実施設計策定(第1期)
- ・「安土山図屏風」等探索事業(聞き取り)

令和の調査・整備事業スタート!!

- ・発掘調査、仮設工事、植生調査、石垣修理
- ・検討会議(有識者・所有者・文化庁)の開催
- ・昭和の記録の整理、報告書の刊行
- ・平成の記録のデジタル化
- ・城跡の修景・修復の継続実施

- ・デジタルによる安土城見える化実施設計
- ・安土城考古博物館展示改修工事(第1期)
- ・「安土山図屏風」等探索事業(聞き取り)

R6 安土城見える化アプリの制作

R7 安土城見える化アプリの公開

安土城考古博物館リニューアルオープン

③ 復元に向けての機運醸成事業

安土城復元に向けて、安土城への関心を高め、機運を醸成するための普及啓発

- ・「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光PR推進事業(観光振興局)
- ・映像記録の制作・活用
- ・お城エキスポin滋賀・びわ湖(大津)
- ・ここ滋賀歴史セミナーの開催

- ・「滋賀の魅力」観光PR事業(R3観光振興局)
- ・今こそ滋賀を旅しよう!(R2~4観光振興局)
- ・お城エキスポin滋賀・びわ湖(R3長浜・R4甲賀)
- ・歴史セミナーの開催等

R4~6 安土城築城450年祭の方向性検討 (観光、市・地域との連携協議)

R7 安土城築城450年祭キックオフ

R8 安土城築城450年祭(発掘調査公開・デジタル見える化公開・博物館リニューアル・記念特別展・記念シンポ・お城エキスポin安土etc)

➡ R14 (信長450年忌へ)

さらなる実像解明と将来に向けての保存 安土城の魅力を未来に継承し、世界に発信

「幻の安土城」復元プロジェクト 特別史跡安土城跡整備基本計画の概要

目的

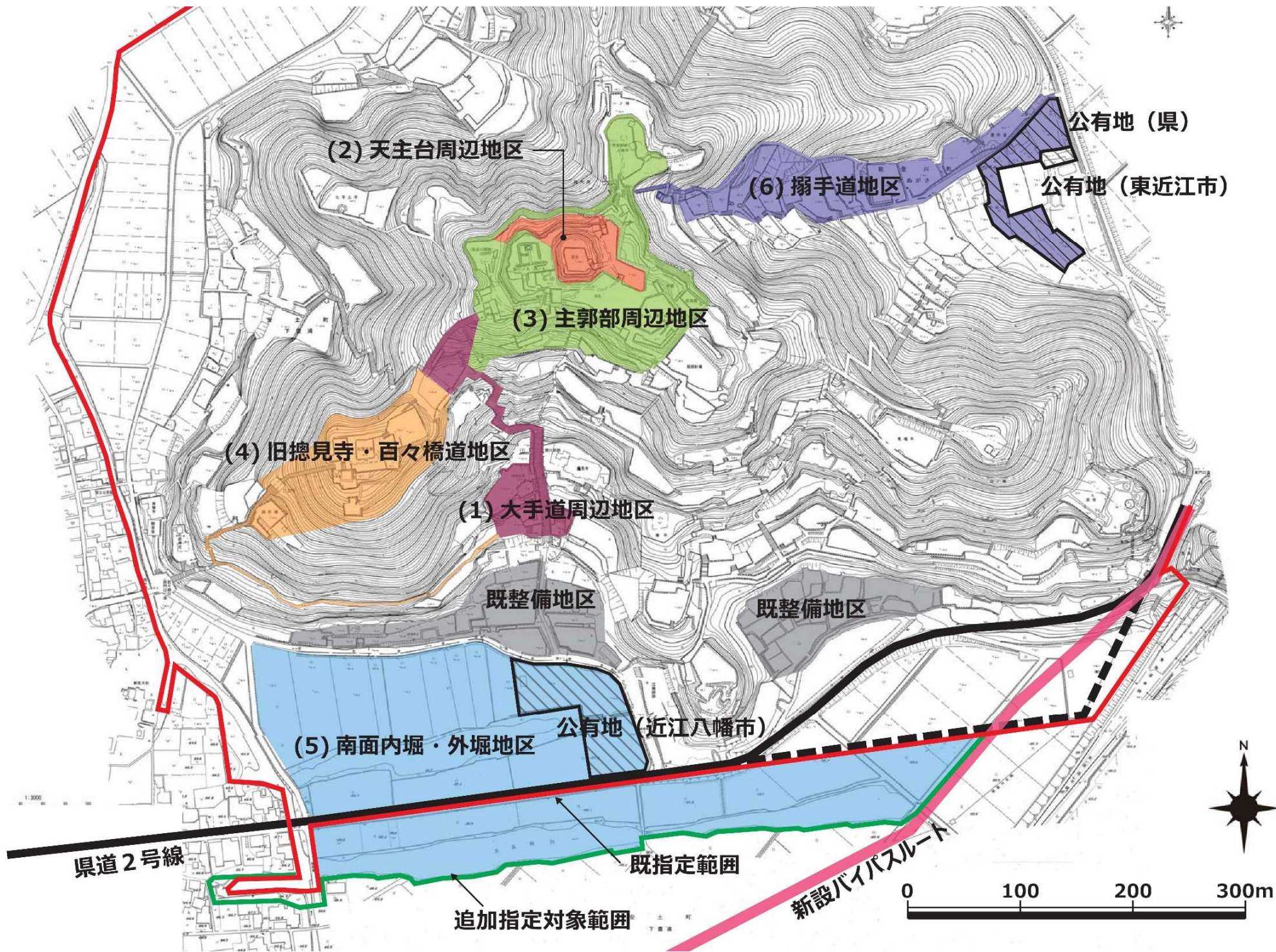
特別史跡安土城跡の価値を将来に向けて、保存・継承・保存していくための調査整備の基本計画

内容

整備の基本理念	安土城跡の実態解明に向けた調査・研究を進めるとともに、史跡としての特性や立地環境を十分に踏まえた環境整備を進める
ゾーンの設定	史跡の特性に応じて全体を6つのゾーンに区分 (1)大手道周辺地区 (2)天主台周辺地区 (3)主郭部周辺地区 (4)旧惣見寺・百々橋道地区 (5)南面内堀・外堀地区 (6)搦手道地区
全体計画	令和5年度から令和24年度までの20年計画で特別史跡安土城跡調査整備事業を実施

年次計画

対象地区		1期（令和5年度～9年度）	2期（令和10年度～14年度）	3期（令和15年度～24年度）
(1)	大手道周辺地区	再整備に向けた課題整理	再整備計画策定	再整備
(2)	天主台周辺地区	上段部の発掘調査と整備計画策定	上段部の整備	下段部の発掘調査と整備
(3)	主郭部周辺地区	植生調査と樹木整理	発掘調査と整備	
(4)	旧惣見寺・百々橋道地区	旧惣見寺跡石垣の防護措置	発掘調査	植生調査と樹木整理 発掘調査と整備
(5)	南面内堀・外堀地区	追加指定 計画策定に向けた関係機関との協議	追加指定・公有化 整備計画策定（近江八幡市と協働）	整備（近江八幡市と協働）
(6)	搦手道地区	計画策定に向けた関係機関との協置	公有化 整備計画策定（東近江市と協働）	整備（東近江市と協働）
	全山対象	石垣調査の計画準備	石垣調査	石垣調査
		遺構確認調査	遺構確認調査	遺構確認調査



特別史跡安土城跡整備基本計画全体ゾーン図

「幻の安土城」復元プロジェクト デジタル技術を活用した「幻の安土城」見える化事業

目的

安土城の価値・魅力を分かりやすく示すことで、次世代に継承すべき大切な文化財であることを知ってもらうとともに、地域振興・観光振興につなげる。



**スマートフォンで安土城の魅力を
ワクワク体験!!**

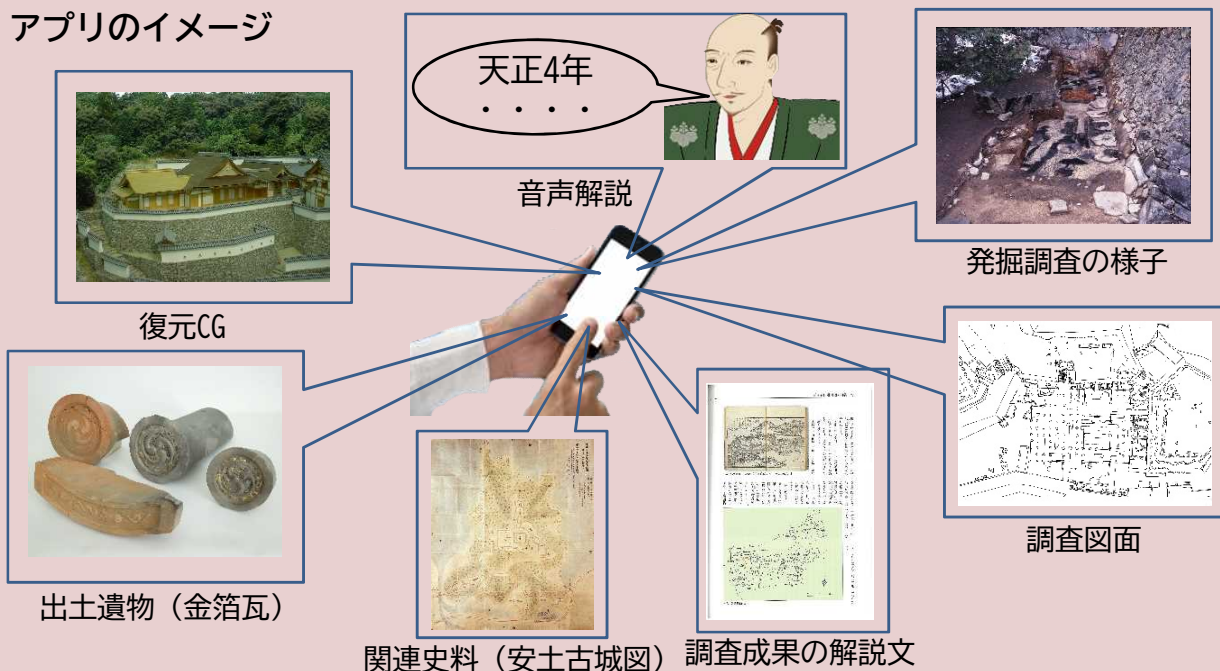
概要

現地（特別史跡安土城跡）に設けられた見える化スポットで、AR（拡張現実）・VR（仮想現実）などのデジタル技術を活用したスマホのアプリにより、発掘調査成果や復元された姿などの多様な情報を提供!!

次世代を担う子どもたち（親子）向けの親しみやすく楽しめるものと、地域住民や歴史ファン・国内外の観光客向けの汎用性のある一般向けのものの2本立てで構成

外国人向けの言語切り替え、調査成果・資料考証に基づく再現、音声情報・文字情報など目と耳で体験できる仕組み、などの導入

アプリのイメージ



工程

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本計画	基本設計	実施設計	アプリ制作	アプリ公開

「幻の安土城」復元プロジェクト 滋賀県立安土城考古博物館展示リニューアル

安土城・信長・戦国 魅力発信拠点

目指す姿

安土城と信長・戦国をテーマとする唯一無二の博物館として、その情報・魅力を発信する。

概要

第1展示室	安土城天主と同じ八角形の平面に多面スクリーンを用いて、唯一無二の没入感のある空間を目指す。(第一期工事)
第2展示室	貴重な実物資料を鑑賞できる展示空間を目指す。(第二期工事)

導入部

ホワイトモデル（地形模型）へのプロジェクションマッピングと壁面へのグラフィックパネル展示により、戦国～信長時代の近江や安土城・城下町の歴史の変遷を説明

シアター

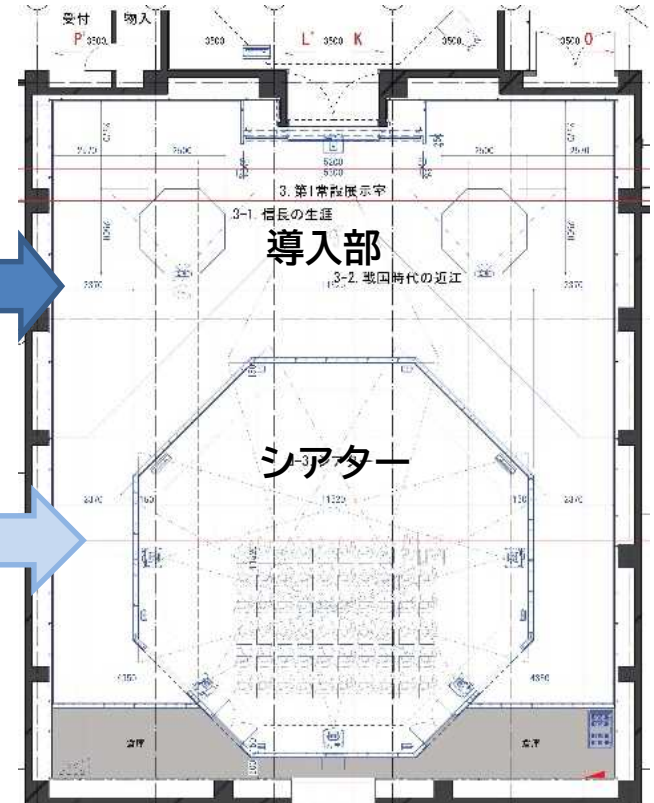
ドラマ仕立てで歴史に興味薄い人でも楽しめる映像

映像1
織田信長と
安土城

織田信長と巡察使ヴァリニヤーノが対話する形式でストーリーが進行
天下人への歩みや安土選定の理由、安土城築城の意義を信長が語る。

映像2
よみがえる
安土城

安土城研究を志す若手研究者が研究史をたどる形でストーリーが展開
天主復元研究の歩み、安土山図屏風等関連資料の現存状況、安土城跡発掘調査の到達点を若手研究者が学び、さらなる調査研究への決意を新たにす。



工程

令和2年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本計画	第1期実施設計 (第1展示室)	第1期展示改修 (第1展示室)	リニューアル オープン	
※第2期工事（第2展示室）の時期は未定				

第1展示室改修イメージ

